



## (2) 事業内容

### 【対象経費】

- ① 新たな医療通訳等の雇用に係る人件費
- ② 宗教・文化対応等外国人患者受入に係る経費

【補助対象者】 コロナ患者の入院を受け入れる医療機関かつ外国人患者を受け入れる拠点的な医療機関

【補助基準額】 1 医療機関あたり 1,000 万円

## (3) 県負担・補助率の考え方

国 10 / 10 (新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金)

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	35,669	・医療通訳等の雇用にかかる人件費への補助
合計	35,669	

### 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略（施策編）

#### 1 「清流の国ぎふ」を支える人づくり

#### (2) 誰もが活躍できる社会

医療通訳ボランティアの育成・確保を進めるほか、市町村や医療機関等と連携し、外国人患者の受診体制の整備を推進する。

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 医療通訳の雇用等、外国人患者の受入環境整備によって、円滑な診療及びコミュニケーションを促進し、全ての住民に安心・安全な医療提供体制を整備する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
	( R )	( H )	( H )	( H )	( R )	%
	( R )	( H )	( H )	( H )	( H )	%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い      △：必要性が低い	
(評価)	○ 医療現場におけるコミュニケーション不足は円滑な診療を妨げるが、医療機関にとって日本語の理解が不十分な患者は少数であり、医療通訳の積極的な雇用等が行われにくい状況であることから、支援が必要である。
・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価)	
・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている      △：向上の余地がある	
(評価)	

### (今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項
----------------------

### (次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか  新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、支援の必要性について検討する。
---------------------------------------------------------------------------------------------